

# 商品、風景、方言の19点認証

## 柳井ブランド 全50点に、情報発進し地域活性化へ

柳井市が、地元の特産品や土産品、自然景観、文化的歴史の財産などを認証している「柳井ブランド」の第3次認証式が5日、市役所で行われた。今回、1個人、9団体の商品17点、地域資源2点の合計19点が新たに認証され、柳井ブランドは通算50点となった。

この事業は、市の優れた地域資源を柳井ブランドとして認証し、その販売を支援するとともに、情報発信を通じて観光客の誘致を促し、地域経済の活性化を図ろうと、平成23年1月からスタートさせた。

「きんさい柳井」を地域ブランド名に、ブランドメッセージを「金魚ちようちん映ゆる 白壁の町 瀬戸内 柳井」とし、同年7月の第1次認証で26



点(商品12点、地域資源14点、昨年3月の第2次認証で5点(商品4点、地域資源1点)を決定。今回の第3次分には、25点(商品22点、推薦3点)の申請があり、1月29日の審査会で19点を選んだ。この日の式では、認証を受けた関係者1人ひとりに、井原市長が認証書と認証事業所用ののぼりを手渡し、「この柳井ブランドを市内、市外、県外へとPRするとともに、この事業をうまく活用し、柳井観光の視点からも大きな力として発揮してほしい」とあいさつした。

今回認証された柳井ブランドは次の通り。

【商品】

- ◎やない金魚米(赤米を染しむ会、北村富夫代表)
- ◎やない金魚(同)
- ◎お願ひ金魚、関連商品(やない自遊倶楽部、坪野ミチ子代表)
- ◎ちりめん金魚ちようちん(難波宏彰代表)
- ◎自然薯そば(白壁の映山、山田映子社長)
- ◎自然薯入り加工麵「冷麵」(やまぐち自然薯生産組合、岩政幸人代表理事)

- ◎自然薯たんご汁「醤油味」(同)
- ◎自然薯たんご汁「味噌味」(同)
- ◎町並みの白壁(華月堂、河村勉社長)
- ◎独歩(同)
- ◎やない優美詩絵(ペーン)未
- ◎やない優美詩絵(ペーン)未
- ◎賞文堂(木阪泰之社長)
- ◎すももジャム(柳井市生改連大島特産加工開発部、山縣啓子部会長)
- ◎みかんジャム(同)
- ◎うずしお味噌(同)
- 【地域資源】
- ◎「あご心配です」方言
- ◎平郡三景(風景)
- ◎写真は柳井ブランド第3次認証を受けた関係者

## 大晃機械がメガソーラー建設 平生町の保有地に、3月から売電



田布施町のポンプ製造業「大晃機械工業(株)」(木村晃一社長)は、同社が保有する平生町野ヶ浜の用地1万9990平方メートルで、大規模太陽光発電事業を展開する。

4日、本社で行われた記者会見で、木村社長自らが、計画の概要を説明した。

事業の目的は、①新規事業としての環境ビジネスへの取り組み②自然エネルギー発電③二酸化炭素削減による地球温暖化防止に寄与④保有不動産の有効活用、3点で、事業所名は「TAIKO平生ソーラーパーク」とした。

事業期間は20年間で、今年3月から中国電力に売電する予定。年間予想売電額は5348万2619円。年間予想発電量は、127万3396キロワットで一般家庭に換算すると約360世帯分の年間消費電力に相当する。

太陽光パネルは、多結晶シリコンの京セラ製242ワットモジュール。表面は、高速道路や空港施設などで設置されている太陽光の反射を押さえる防眩ウレタンコーティングが施されている。

周防大島から体験ツアー「ウニ割り体験」に参加募集。周防大島から体験ツアー「ウニ割り体験」に参加募集。周防大島から体験ツアー「ウニ割り体験」に参加募集。

## 15日から、おひなさま

### 13回目 白壁通りなど

今年で13回目を迎える「商都柳井 おひなさま巡り」が2月15日(金)から、柳井市の観光名所、白壁通りや麗都路通りで開かれる。期間は、3月31日(日)まで。柳井市白壁の町並みを守る会佐川有信会長主催。

おひなさま巡りは、ひな祭りの時期に合わせて、平成13年から始まったイベント。期間中は、白壁の町並みから駅前前の麗都路通りの商店など23カ所を巡り、おひなさま巡り。おひなさま巡り。おひなさま巡り。

## 自作絵本の読み語りライブ

### 柳井出身の童話作家 童話作家 かつおかさんが伊陸保育園で

柳井市出身の童話作家 かつおかけいこさん(50)・愛知県名古屋市在住)が6日、市内伊陸の伊陸保育園(山根正文園長、51人)を訪れ、自作の絵本の読み語りライブを行った。

子供たちに絵本の楽しさを伝え、元気と勇気を与えようと、かつおかさん自身が、昨年2月からスタートさせた親子の絆応援プロジェクト「全国のおうかん」を届けようの一環。

昨年3月に母園であるルンビニ保育園を皮切りに、それが作詞、振り付られた。

柳井市出身の童話作家 かつおかさん(50)・愛知県名古屋市在住)が6日、市内伊陸の伊陸保育園(山根正文園長、51人)を訪れ、自作の絵本の読み語りライブを行った。

子供たちに絵本の楽しさを伝え、元気と勇気を与えようと、かつおかさん自身が、昨年2月からスタートさせた親子の絆応援プロジェクト「全国のおうかん」を届けようの一環。

昨年3月に母園であるルンビニ保育園を皮切りに、それが作詞、振り付られた。



けした歌を園児と一緒に歌い、最後の絵本では、目に見えない「まほうのおうかん」を園児の頭にかぶせると、園児たちは笑顔になって心を和ませていた。

ライブ後、かつおかさんは「自分の書いた作品を園児たちの前で生ライブできることはうれしく、次の創作活動への意欲につながる。故郷での活動は、この地で育まされたことへの恩返し。今後お絵本のすばらしさを伝えていきたい」と話していた。

かつおかさんは、柳井小、柳井中、柳井高校から、早稲田大学第一文学部へと進み、卒業後は学

習塾に就職。約5年前から童話を書き始め、現在は執筆活動の傍ら、自作の話を読み語り歌い踊るお話ライブやワークショップなどを全国各地で展開している。

また、柳井市ふるさと観光大使としても活躍中。3月17日に白壁の町並みを舞台に開催されるイベント「花・香・遊」でも読み語りを行う予定。(写真は伊陸保育園で絵本の読み語りライブを